

「第3回敦賀国際エネルギーフォーラムーもんじゅ
の国際的役割と地域との連携ー」の開催について

平成 14 年 4 月 9 日
核燃料サイクル開発機構

1.開催趣旨

核燃料サイクル開発機構では、ウラン資源を最大限に有効利用できる高速増殖炉とこれを中心とした核燃料サイクルを確立するための技術開発を実施し、その中核として高速増殖原型炉「もんじゅ」を活用していくための取組みを行ってきております。

今回、エネルギー確保、経済発展および環境保全の視点から、「循環型社会」構造の構築のために再生可能エネルギーであるプルトニウム利用を基盤とした原子力エネルギーの将来性と、そこで「もんじゅ」が果たすべき役割や立地地域との連携を議論することを目的に、「第3回敦賀国際エネルギーフォーラムーもんじゅの国際的役割と地域との連携ー」を開催することに致しました。

2.開催概要

- (1)開催日時 : 平成 14 年 4 月 25 日 (木) フォーラム (13:00～17:35)
 年 4 月 26 日 (金) フォーラム (9:00～16:50)
 4 月 27 日 (土) ふげん・もんじゅ見学会 (9:30～14:40)
- (2)開催会場 : 福井県若狭湾エネルギー研究センター・ホール
 (福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1)
- (3)プログラム : 別添参照
- (4)主催 : 核燃料サイクル開発機構
- (5)後援 (予定) : 原子力委員会、文部科学省、経済産業省、福井県経済団体連合会、
 敦賀商工会議所、電気事業連合会、(社)日本原子力産業会議、
 (社)日本原子力学会、(社)日本機械学会、
 (社)電気学会、エネルギー・資源学会
- (6)開催形式 : 講演およびパネル討論
 エネルギー、原子力関係業務に従事する方々や地元一般の方々を
 対象 (約 350 名)

以上

第3回 敦賀国際エネルギーフォーラム

— 「もんじゅ」の国際的役割と地域との連携 —

プログラム（案）

主催：核燃料サイクル開発機構
 後援：原子力委員会、文部科学省、経済産業省、福井県経済団体連合会、
 （予定）敦賀商工会議所、電気事業連合会、（社）日本原子力産業会議、
 （社）日本原子力学会、（社）日本機械学会、
 （社）電気学会、エネルギー・資源学会
 開催場所：福井県若狭湾エネルギー研究センター・ホール
 （福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地 1）

※ 演題は仮題です。
 登壇者については交渉中です。

4月25日（木）

13:00 主催者挨拶

都甲 泰正 核燃料サイクル開発機構理事長
 西原 英晃 第3回敦賀国際エネルギーフォーラム運営委員長
 （京都大学名誉教授）

来賓ご挨拶
 ご来賓

特別講演・基調講演

【座長：前田 肇（関西電力株式会社 特別顧問）】

13:30 特別講演

『専門家の「常識」と社会の「認識」— “沈黙の螺旋” を乗り越える—』
 講演：加納 時男（参議院議員、文部科学大臣政務官）

13:50 基調講演

『世界のエネルギー政策と原子力の役割』
 講演：竹内 哲夫（内閣府 原子力委員会委員）

14:30 休憩

14:50 セッションⅠ『各国の21世紀におけるエネルギー政策と原子力の展望』

【座長：神田 啓治（エネルギー政策研究所長）】

14:55 第1部 講演「各国のエネルギー政策の展望」

J. ブシャール（仏国原子力庁(CEA) 原子力開発局長）
 趙 志祥（中国原子能科学研究院長）
 G. H. マーカス（米国エネルギー省(DOE) 原子力科学技術局副局長）
 竹内 榮次（核燃料サイクル開発機構 副理事長、敦賀本部長）

16:15 休憩

16:35 第2部 パネル討論

パネリスト

B. タンチュリエ（仏国電力公社(EDF) 会長付顧問）
 趙 志祥（中国原子能科学研究院長）
 G. H. マーカス（米国エネルギー省(DOE) 原子力科学技術局副局長）
 B. コンビ（原子力を支持する環境主義者協会 理事長）
 竹内 榮次（核燃料サイクル開発機構 副理事長、敦賀本部長）

17:35 初日終了

4月26日(金)

9:00 特別講演『高速増殖炉 EBR-I における世界初の原子力発電から 50 年』
【座長：西原 英晃（京都大学名誉教授）】

講演：L. C. ウォルターズ（米国アルゴンヌ国立研究所 上級技術顧問）

9:40 セッションⅡ『FBR 開発における「もんじゅ」の国際的役割』
【座長：西原 英晃（京都大学名誉教授）】

9:45 第1部 講演『「もんじゅ」への期待と「もんじゅ」の国際的役割』

菊池 三郎（核燃料サイクル開発機構 理事，敦賀本部長代理，もんじゅ建設所長）
P. E. ジューン（国際原子力機関(IAEA) 原子力局 原子動力部長）

10:25 休憩

10:45 （第1部 講演の継続）

P. ベルナール（仏国原子力庁(CEA) 原子力開発局 原子力技術開発本部長）
V. ポプラフスキー（露国物理・動力工学研究所(IPPE) 副所長）
D. ハーン（韓国原子力研究所 韓国新型液体金属原子炉(KALIMER)技術開発部長）
榎本 聡明（東京電力株式会社 常務取締役）

12:05 昼食

12:10 原子力熱中塾 ・一般参加者の方々との意見交換

13:30 第2部 パネル討論

パネリスト

P. ベルナール（仏国原子力庁(CEA) 原子力開発局 原子力技術開発本部長）
V. ポプラフスキー（露国物理・動力工学研究所(IPPE) 副所長）
D. ハーン（韓国原子力研究所 韓国新型液体金属原子炉(KALIMER)技術開発部長）
L. C. ウォルターズ（米国アルゴンヌ国立研究所 上級技術顧問）
趙 志祥（中国原子能科学研究院長）
菊池 三郎（核燃料サイクル開発機構理事，敦賀本部長代理，もんじゅ建設所長）

14:50 休憩

15:10 セッションⅢ『原子力技術がもたらす地域発展の可能性』
【座長：堀 照夫（福井大学教授）】

パネリスト

奈良 人司（文部科学省 地域科学技術推進室長）
花内 秀友（近畿経済産業局 産業企画部 技術企画課 課長補佐）
三谷 政敏（福井経済同友会 特別幹事，敦賀セメント株式会社 取締役相談役）
水野 政明（日本原子力発電株式会社 取締役，敦賀地区本部副本部長）
天谷 保子（福井県連合婦人会 監事）
石村 毅（核燃料サイクル開発機構 特任参事，敦賀本部副本部長）

16:40 閉会の辞

中神 靖雄（核燃料サイクル開発機構 副理事長）